

第5回 海岸勉強会メモ

日時:平成20年4月23日(水)

19:00~21:00

会場:住吉公民館

[参加者]

- ・一般の方:約20名
- ・行政担当者等:約20名(県河川課、県港湾課、宮崎土木事務所、宮崎港湾・空港整備事務所、宮崎河川国道事務所等)

(1) 海岸の生物に関して

- ① アカウミガメの生態(竹下完先生)
- ② コアジサシの生態(中島義人先生)

【質疑応答】

- ◇ 現在の砂浜の状況は生物(カメ)にどのような影響を与えているか。(地元の方)
→浜がけが1m以上あるところがあり、卵を見つけ次第丘にあげる作業をしている。また、砂浜があるから必ずそこに産卵するというでもない。沖合の地形なども影響している。(先生)
- ◇ 港湾の人工ビーチにもカメは産卵するが、海水浴客のためのクラゲ防護ネットが邪魔をして入れない。(先生)
- ◇ 生物(コアジサシ)のために人工的に植生してはどうか。(地元の方)
→繁殖に適した状態に保つには相当な手間がかかる。(先生)
- ◇ キビナゴ、イリコなど餌となる生物が豊富なこともコアジサシが宮崎海岸で繁殖している理由の一つ。(先生)
- ◇ これまで試験養浜した箇所の産卵状況は。(地元の方)
→投入した土砂が硬くなってしまってカメの産卵には適さない状況であった。雨が降って水みち(溝)ができるのもよくない。(先生)
- ◇ 護岸はカメの産卵にとってはよくない。(先生)
- ◇ どういう養浜のやり方が生物によいか、よく検討しなければならない。(地元の方)
- ◇ 温暖化による生態への影響もある。(先生)

(2) その他

- ・第6回勉強会は、平成20年6月4日(水) 住吉公民館 19:00~
宮崎河川国道事務所より新しい体制や宮崎海岸事業に関する説明を行う予定。
- ・第4回までの積み残された話は次回以降に回答する。
- ・次々回(7回目)以降にどのように勉強会を行うかは、6回目後の段階で検討する。「港の利用状況」「気象」「植生」「風習・伝統」などの意見あり。